

令和7年度

大山小・中学校 第4回大山CS委員会 (学校運営協議会)



令和8年2月17日(火)

10:40~11:30

日田市立大山小・中学校

日田市大山町西大山3615-1

TEL 0973-52-2052 (小)

0973-52-2051 (中)

FAX 0973-52-2064

日田市立

大山中

学校

令和7年12月 20日

【学校の教育目標】		ふるさと大山を誇りとし、次代をたくましく生き抜く児童生徒の育成（小・中学校共通） ～高い志を持ち、主体的に学習や運動に取り組む生徒の育成（中学校）～				
【育成を目指す資質・能力】		対話力の向上			評価	
重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	担当	指標別	全体
基礎的・基本的な知識や技能の定着	○ 定期テスト（5教科）における問題データベースから出題する基礎・基本問題の平均正答率 70%以上 ○ 生徒アンケートで「使える表現が増えたり構成を考えて文章を書いたりできるようになった」と答える生徒 60%以上	学校 ○ 基礎・基本の定着	○ 2週間に1回問題データベースやキュービナを使った単元テストを実施	健やかな体	3	3
		○ 文章構成や適切なことばを選ぶ力の育成	○ 朝読書を行い、週末に読書日記を作成させる。読書日記の内容で構成の良い文章を提示し、自分のものと常に比較できるようにする。さらに『おすすめの本の紹介』作成を月に1回行う。		4	
		家庭 ○ 家庭内での会話の推進	○ 保護者は、毎日子どもとの会話を心掛け実践する。			
		地域 ○ あいさつ＋声かけを行う	○ 地域でのあいさつに声掛けをプラスして行い、会話する。			
表現力の向上	○ 期末テスト（全教科）における記述式回答の回答率 80%以上 ○ 期末テスト（全教科）における思考力・判断力・表現力を問う記述式問題の正答率 65%以上 ○ 生徒アンケート「話し合い活動を通して、自分の考えがより明確になったり、相手の意見の良さが分かったり、新しい解決の糸口を見つたりできるようになった」と答える生徒 「話し手の話と自分の考えを比較対照し、聴くことができる（できた）」 75%以上	学校 ○ 短学活の充実	○ 毎日の短学活に「対話」させる場面を位置付ける	確かな学び	4	3
		○ 対話レベルの習得	○ 対話レベルを「聴くこと」「話すこと」スキル表により、現在の自分のレベル、次に目指すレベルを明確に意識させる。対話レベルチェックを月に1回行う。		4	
		家庭 ○ 家庭学習の確立	○ 保護者は、学期に1回以上、家庭学習時間の点検・評価を行う		2	
		地域 ○ 表現する場の設定	○ 月1回の「読み聞かせ」終了後、感想発表や意見交換の場を設定する			
他者との協働	○ 生徒アンケートで「いじめや差別をしない・許さない生活ができた」と答える生徒 80%以上 ○ 生徒アンケートで「大山町の一員として、故郷に貢献できる活動に関わりたい」と答える生徒 50%以上	学校 ○ いじめや差別をしない・許さない生徒育成のための生徒会活動の実践	○ 2学期はじめに「人権宣言に関わる則の見直し」を行い人権感覚の共通認識を持たせようとして、月1回の「人権宣言アンケート」をロイロノートで行いデータの推移を可視化する。	豊かな心	3	3
		○ 地域貢献活動の実践	○ 生徒会は、地域貢献活動を学期に1回以上企画する。地域からの要請があった場合、呼びかけを行う。ボランティアスタンプカード（仮称）を生徒に配布し、活動回数を記録する。		4	
		家庭 ○ 地域貢献活動への参加協力	○ 保護者は、生徒に地域貢献活動の募集があった場合、参加の声掛けや参加体制を整える。			
		地域 ○ 地域貢献活動の場の提供	○ 地域は、生徒が参加できる地域貢献活動をCSを通じて学期に1回以上提供する。			
【働き方改革の推進】	○ 各月の目標退勤時間内に退勤する職員 75%以上 ○ 「効果・効率的な働き方に努めた」「時間外勤務時間が縮減した」と実感が持てる 2つの回答の平均60%	学校等 ○ チームや学年部を活用した業務の見直し	○ 管理職は月1回時間外勤務の状況把握と要因の検証を運営委員会で行うとともに、学期に1回の個人面談を行う	管理職	4	4
		○ 地域の学校支援活動の充実	○ 学期に1回以上、授業や行事での補助人材を提供する。 ※学校運営協議会にて地域人材の情報提供をする。		4	

日田市立

大山中

学校

令和8年 1月 8日

【学校の教育目標】		ふるさと大山を誇りとし、次代をたくましく生き抜く児童生徒の育成（小・中学校共通） ～高い志を持ち、主体的に学習や運動に取り組む生徒の育成（中学校）～			
【育成を目指す資質・能力】		対話力の向上			担当
重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標		
基礎的・基本的な知識や技能の定着	<div>○ 定期テスト（５教科）における問題データベースから出題する基礎・基本問題の平均正答率 70％以上</div> <div>R7 2学期 62％</div> <div>○ 生徒アンケートで「使える表現が増えたり構成を考えて文章を書いたりできるようになった」と答える生徒 60％以上</div> <div>R7 2学期 62％</div>	学校	<div>○ 基礎・基本の定着</div> <div>○ 文章構成や適切なことばを選ぶ力の育成</div>	<div>○ 2週間に1回問題データベースやキュービナを使った単元テストを実施</div> <div>○ 朝読書を行い、週末に読書日記を作成させる。読書日記の内容で構成の良い文章を掲示し、自分のものと常に比較できるようにする。さらに『おすめの本の紹介』作成を月に1回行う。</div>	健やかな体
		家庭	<div>○ 家庭内での会話の推進</div>	<div>○ 保護者は、毎日子どもとの会話を心掛け実践する。</div>	
		地域	<div>○ あいさつ＋声かけを行う</div>	<div>○ 地域でのあいさつに声掛けをプラスして行い、会話する。</div>	
表現力の向上	<div>○ 期末テスト（全教科）における記述式回答の回答率 90％以上</div> <div>R7 2学期 92％</div> <div>○ 期末テスト（全教科）における思考力・判断力・表現力を問う記述式問題の正答率 65％以上</div> <div>R7 2学期 65％</div> <div>○ 生徒アンケート「話し手の話と自分の意見を比較しながら聴くことができる（できた）」と答える生徒 75％以上</div> <div>R7 2学期 50％</div>	学校	<div>○ 短学活の充実</div> <div>○ 対話レベルの習得</div>	<div>○ 毎日の短学活に「対話」させる場面を位置付ける</div> <div>○ 対話レベルを「聴くこと」「話すこと」スキル表により、現在の自分のレベル、次に目指すレベルを明確に意識させる。対話レベルチェックを月に2回行う。</div>	確かな学び
		家庭	<div>○ 家庭学習の確立</div>	<div>○ 保護者は、学期に1回以上、家庭学習時間の点検・評価を行う</div>	
		地域	<div>○ 表現する場の設定</div>	<div>○ 月1回の「読み聞かせ」終了後、感想発表や意見交換の場を設定する</div>	
他者との協働	<div>○ 生徒アンケートで「いじめや差別をしない・許さない生活ができた」と答える生徒 80％以上</div> <div>R7 2学期 73％</div> <div>○ 生徒アンケートで「大山町の一員として、故郷に貢献できる活動に関わりたい」と答える生徒 60％以上</div> <div>R7 2学期 56％</div>	学校	<div>○ いじめや差別をしない・許さない生徒育成のための生徒会活動の実践</div> <div>○ 地域貢献活動の実践</div>	<div>○ 2学期はじめに「人権宣言に関わる則の見直し」を行い人権感覚の共通認識を持たせうえで、月1回の「人権宣言アンケート」をロイノートで行いデータの推移を可視化する。</div> <div>○ 生徒会は、地域貢献活動を学期に1回以上企画する。地域からの要請があった場合、呼びかけを行う。ボランティアスタンプカード（仮称）を生徒に配布し、活動回数を記録する。</div>	豊かな心
		家庭	<div>○ 地域貢献活動への参加協力</div>	<div>○ 保護者は、生徒に地域貢献活動の募集があった場合、参加の声掛けや参加体制を整える。</div>	
		地域	<div>○ 地域貢献活動の場の提供</div>	<div>○ 地域は、生徒が参加できる地域貢献活動をCSを通じて学期に1回以上提供する。</div>	
【働き方改革の推進】	<div>○ 各月の目標退勤時間内に退勤する職員 85％以上</div> <div>R7 2学期 85％</div> <div>○ 「効果・効率的な働き方に努めた」「時間外勤務時間が縮減した」と実感が持てる 2つの回答の平均75％以上</div> <div>R7 2学期 71％</div>	学校等	<div>○ チームや学年部を活用した業務の見直し</div> <div>○ 地域の学校支援活動の充実</div>	<div>○ 管理職は月1回時間外勤務の状況把握と要因の検証を運営委員会で行うとともに、学期に1回の個人面談を行う</div> <div>○ 学期に1回以上、授業や行事での補助人材を提供する。 ※学校運営協議会にて地域人材の情報提供をする。</div>	管理職

令和7年度 2 学期末 生徒アンケート

上段：2 学期

下段：1 学期

4 そう思う 当てはまる 2 あまりそう思わない あまり当てはまらない		3 ややそう思う やや当てはまる 1 そう思わない 当てはまらない		4	3	2	1
朝は自分で起きている				52%	37%	8%	4%
				56%	31%	9%	4%
朝食は毎朝食べている				79%	15%	4%	2%
				78%	13%	7%	2%
不必要な夜更かしはしていない				44%	38%	15%	2%
				43%	35%	17%	6%
朝、決まった時間に起きている				58%	35%	8%	0%
				54%	39%	6%	2%
相手の顔を見てあいさつができた				73%	27%	0%	0%
				70%	26%	4%	0%
場に応じた身なりや言葉遣いができた				62%	38%	0%	0%
				63%	31%	6%	0%
身の回りの整理整頓ができた				60%	27%	13%	0%
				69%	26%	6%	0%
無言清掃に取り組めた				46%	48%	4%	2%
				43%	46%	9%	2%
時間の管理ができた				56%	35%	8%	2%
				48%	41%	11%	0%
学習習慣がついた（ついている）				31%	52%	15%	2%
				28%	44%	22%	6%
基本的生活習慣のレベルアップを意識できた				56%	40%	4%	0%
				39%	48%	13%	0%
行事や活動に全力で取り組んだ				73%	21%	6%	0%
				57%	37%	6%	0%
学校（生活）は楽しい				62%	31%	6%	2%
				50%	41%	7%	2%
自分には良いところがある				54%	29%	12%	6%
				39%	43%	9%	9%

学校での人間関係は良好である	58%	37%	6%	0%
	44%	44%	11%	0%
友達との関係を自分からよくしようと心掛けている	71%	25%	4%	0%
	63%	28%	7%	2%
つらいことや困ったことがあったとき、家の誰かに相談できる	50%	33%	8%	10%
	44%	31%	11%	13%
つらいことや困ったことがあったとき、相談できる友達がいる	69%	25%	2%	4%
	57%	35%	4%	4%
つらいことや困ったことがあったとき、学校の先生に相談できる	46%	29%	12%	13%
	31%	44%	13%	11%
学校や学級の役割などで、「先生から期待されている」「友達から頼りにされている」と感じることがある	40%	33%	19%	8%
	30%	41%	24%	6%
いじめや差別をしない・許さない生活ができた	73%	27%	0%	0%
	69%	30%	2%	0%
将来、「あんな人になりたい」「こんなことがしたい」「こんな仕事に就きたい」という夢や目標がある	60%	27%	10%	4%
	44%	35%	17%	4%
あなたが頑張ったとき、友達・家族・先生から「頑張ったね」「すごいね」と褒められたり、努力を認められたりしたことがある	56%	38%	4%	2%
	57%	37%	6%	0%
授業規律を守っている	69%	29%	2%	0%
	67%	26%	2%	6%
次の授業は理解できている 【国語】	69%	31%	0%	0%
	81%	19%	0%	0%
次の授業は理解できている 【社会】	46%	48%	6%	0%
	57%	35%	7%	0%
次の授業は理解できている 【数学】	42%	42%	13%	2%
	43%	44%	11%	2%
次の授業は理解できている 【理科】	40%	44%	15%	0%
	44%	48%	6%	2%
次の授業は理解できている 【英語】	31%	46%	15%	8%
	39%	44%	13%	4%
次の授業は理解できている 【音楽】	71%	27%	2%	0%
	78%	20%	2%	0%

次の授業は理解できている 【保健体育】	67%	31%	2%	0%
	70%	28%	2%	0%
運動することは楽しい	63%	25%	12%	0%
	67%	20%	11%	2%
次の教科の学習は好き【国語】	71%	23%	4%	2%
	69%	28%	2%	2%
次の教科の学習は好き【社会】	48%	38%	10%	4%
	52%	33%	11%	4%
次の教科の学習は好き【数学】	38%	33%	23%	6%
	37%	33%	24%	6%
次の教科の学習は好き【理科】	48%	31%	15%	6%
	44%	37%	17%	2%
次の教科の学習は好き【英語】	40%	37%	17%	6%
	37%	37%	22%	4%
次の教科の学習は好き【音楽】	69%	25%	4%	2%
	70%	26%	0%	4%
次の教科の学習は好き【保健体育】	60%	38%	2%	0%
	65%	31%	4%	0%
先生たちは「わかりやすい授業」をしている	54%	44%	2%	0%
	70%	26%	4%	0%
授業を受けることで自分の学力が向上していると思う	54%	42%	2%	2%
	56%	41%	4%	0%
わからない言葉や問題が出てきたときに、自分で調べたり、解いたりしている。	54%	35%	10%	2%
	56%	37%	7%	0%
話し手の話と自分の意見を比較しながら聴くことができる（できた）	50%	42%	8%	0%
小集団（ペア）の話し合いで、自分の考えを友達に伝えたり、新たな気づきや多様な意見に対する考えを言い合ったりすることができている（できた）	52%	44%	4%	0%
授業や生徒会活動で、友達と意見交換しながら課題解決に取り組むことができている（できた）	63%	31%	6%	0%
	59%	37%	4%	0%
使える表現が増えたり構成を考えて文章を書いたりできるようになった。	62%	37%	2%	0%
	46%	44%	9%	0%

行事や授業などの自己表現の場を経験したことで、さらにコミュニケーション力がついた。	62%	35%	4%	0%
	52%	37%	9%	2%
進んで生徒会活動に参加している	63%	35%	2%	0%
	57%	37%	6%	0%
進んで地域の活動や行事に参加した	42%	33%	19%	6%
	41%	37%	17%	6%
大山町の一員として故郷に貢献できる活動に関わりたい	56%	29%	12%	4%
	35%	54%	9%	2%
自分の住んでいる「大山町」が好き	69%	25%	4%	2%
	66%	30%	4%	0%

日頃の家庭学習時間を10分単位で書いてください（例：80分 100分）

	時間	0～30	31～60	61～90	91～120	121～150	151～180	181～
2 学期	人数	13	7	2	20	7	2	16
	割合	19%	10%	3%	30%	10%	3%	24%
1 学期	人数	16	12	2	21	1	0	2
	割合	30%	22%	4%	39%	2%	0%	4%

目標学習時間 達成率			1 学期
学年	目標学習時間	達成率	達成率
7 年生	100分	40%	6%
8 年生	110分	38%	33%
9 年生	120分	75%	65%

令和7年度 2学期末 保護者アンケート

上段：2学期

下段：1学期

4 そう思う 当てはまる 2 あまりそう思わない あまり当てはまらない	3 ややそう思う やや当てはまる 1 そう思わない 当てはまらない	4	3	2	1
お子さんは学校生活を楽しく過ごせている		65%	35%	0%	0%
		56%	40%	4%	0%
学校でのお子さんの人間関係は良好である		52%	48%	0%	0%
		44%	48%	8%	0%
お子さんは、基本的生活習慣が身についている (早寝・早起き・朝ごはん・自起き・食育・健康)		30%	52%	13%	4%
		24%	60%	16%	0%
お子さんは「あいさつ」「場に応じた身なりや言葉遣い」「整理整頓」「時間の管理」「学習習慣」といった凡事徹底ができています		13%	61%	22%	4%
		12%	64%	24%	0%
上の質問に「2」「1」で回答された方は、どれができていないか、おひとつお答えください		時間の管理3 学習習慣2 あいさつ2 整理整頓1			
		時間の管理4 整理整頓4 学習習慣2			
お子さんは、自分の生活や学習を振り返り、生活改善や学習改善に取り組んでいる		17%	65%	17%	0%
		15%	42%	42%	0%
お子さんは、学校でお互いを理解できる友だち関係を築くことができています		52%	48%	0%	0%
		27%	58%	15%	0%
お子さんは、積極的に自分の考えを伝えたり、表現したりしています		22%	65%	13%	0%
		19%	62%	19%	0%
学校と連携したSNS利用に関する取組（メディア利用ルール遵守の取組でのコメント記入や確認）を行った。		26%	61%	4%	9%
		20%	44%	28%	8%
毎日、お子さんとの会話を心掛けている。		65%	35%	0%	0%
		62%	38%	0%	0%
学期に1回以上、お子さんの家庭学習について評価した。（家庭学習を話題に会話した）		52%	43%	4%	0%
		48%	48%	4%	0%
学校は基本的生活習慣（早寝、早起き、朝ご飯、自起き、食育、健康）や学習習慣について、生活日誌の結果などから適切な指導を行っている		26%	74%	0%	0%
		19%	77%	4%	0%
学校は表現力や対話力の向上に向けて、授業や学校生活の中で適切に指導を行っている		35%	65%	0%	0%
		19%	77%	4%	0%
学校は「いじめ」や「いじめにつながる冷やかし・からかい」について、適切に指導している		22%	78%	0%	0%
		31%	62%	8%	0%

学校は相談事や悩み事に適切に応じてくれている（理解してくれている）	30%	70%	0%	0%
	23%	65%	12%	0%
学校は環境美化に積極的に取り組んでいる（校内環境が整っている）	43%	57%	0%	0%
	27%	73%	0%	0%
学校は生徒の活躍の場や、自分たちで企画し判断・行動する場がある	39%	61%	0%	0%
	23%	73%	4%	0%
学校行事は生徒にとって楽しく充実したものになっている	52%	48%	0%	0%
	19%	81%	0%	0%
家庭では毎朝、お子さんの顔を見てあいさつをしている	70%	30%	0%	0%
	62%	38%	0%	0%
お子さんは、「携帯・スマホ」や「インターネット」について、節度ある利用ができています。	22%	70%	9%	0%
	31%	46%	19%	4%
学校は、家庭や地域への連絡や情報提供を適切に行っている。（例：学校便り、学年・学級通信、学校ホームページ 等）	43%	57%	0%	0%
	46%	50%	4%	0%
学校は、地域学習やボランティア活動（地域貢献活動）を通して「ふるさと大山を愛する気持ち」「大山に貢献する気持ち」の向上を図ることができている	35%	65%	0%	0%
	35%	54%	12%	0%
地域貢献活動の募集があった際、参加の声掛けを行ったり、送迎等で参加への協力を行ったりした。	30%	43%	17%	9%
	35%	46%	15%	4%
学校運営協議会（大山CS委員会）は地域と学校・保護者と連携して計画的に推進している	22%	78%	0%	0%
	19%	77%	4%	0%

学校に対するご意見がありましたらご記入ください

○子どもたちと先生の関係が見ていて微笑ましく、安心しております。いつも子どもたちとの適切な距離感、指導、サポートありがとうございます。おかげで学校が楽しく、毎日張り切って行けています。
○先生に子どもたちが甘えてしまっているのではないかと恐縮に感じます。いつも暖かく支えてくださってありがとうございます。

令和7年度 2学期末 教職員アンケート

上段：2学期

下段：1学期

4 そう思う 当てはまる 2 あまりそう思わない あまり当てはまらない	3 ややそう思う やや当てはまる 1 そう思わない 当てはまらない	4	3	2	1
生徒（子どもたち）は学校生活を楽しく過ごせている		71%	29%	0%	0%
		63%	38%	0%	0%
学校での生徒の人間関係は良好である		57%	43%	0%	0%
		50%	38%	13%	0%
学校生活は落ち着いている（学校全体の雰囲気はよいと思う）		100%	0%	0%	0%
		63%	38%	0%	0%
生徒の家庭学習は定着している		0%	57%	43%	0%
		17%	17%	50%	17%
生徒は校内で自分から積極的に挨拶ができています		14%	57%	29%	0%
		25%	63%	13%	0%
生徒は顔を見て「あいさつ」ができています		14%	71%	14%	0%
		13%	75%	13%	0%
生徒の顔を見て積極的な「あいさつ」をしている。		71%	29%	0%	0%
		63%	25%	13%	0%
毎週1回（計画されている週）、「人間関係づくりプログラム」を実施した		100%	0%	0%	0%
		83%	0%	0%	17%
「いじめ」のない学級・学年づくりに取り組んでいる		100%	0%	0%	0%
		83%	17%	0%	0%
「いじめは、絶対にいけないこと」「いじめにつながる冷やか・からかいもいけないこと」を指導している。		86%	14%	0%	0%
		75%	13%	13%	0%
生徒の小さな変化を敏感に感じ、積極的にコミュニケーションを図ったり、学年（縦）や分掌（横）との報告・連絡・相談を確実にしたりしている		86%	14%	0%	0%
		75%	25%	0%	0%
校内の環境美化や整理に積極的に取り組んでいる		43%	57%	0%	0%
		63%	38%	0%	0%
行事や活動は生徒にとって楽しく充実したものになっている ※生徒の活躍の場や自分たちで企画し判断・行動する機会を作っている		71%	29%	0%	0%
		50%	50%	0%	0%
学習や活動を通して、生徒の「ふるさと大山を愛する気持ち」「大山に貢献する気持ち」の向上を図ることができた。		17%	67%	17%	0%
		43%	43%	14%	0%
生徒の健康や安全管理に適切に取り組むことができています		86%	14%	0%	0%
		71%	29%	0%	0%

生徒の規範となる行動を心掛けている	71%	29%	0%	0%
	75%	25%	0%	0%
授業規律の指導に取り組んでいる	83%	17%	0%	0%
	75%	25%	0%	0%
1 時間完結型（「めあて」と「振り返り」のある授業）ができている	67%	33%	0%	0%
	29%	71%	0%	0%
板書の構造化、板書とノートの一体化を考えた板書に取り組んでいる	67%	33%	0%	0%
	57%	29%	14%	0%
生徒指導の 3 機能を意識した授業を行っている	83%	17%	0%	0%
	71%	29%	0%	0%
教科の特性に応じた有効な家庭学習方法について、授業で指導し実態に応じて課題を工夫している	83%	17%	0%	0%
	57%	29%	14%	0%
問題解決的な展開の授業において、自分の考えを整理し、根拠をもって広げる場を、小単元に 1 回以上設定した	33%	67%	0%	0%
	86%	0%	14%	0%
授業では、タブレットを活用して得た情報や友人との意見交換から、生徒が自己の考えを持つ場面を設定した。	33%	33%	33%	0%
	57%	29%	14%	0%
授業や生徒会活動で、自己の考えを伝えたり発表したりする場を設定した。	67%	33%	0%	0%
	71%	29%	0%	0%
自己判断力・自己表現力の向上に向けて、家庭と連携して取り組めた。 ※「キャリア・ノート」コメント記入の取り組み等	80%	20%	0%	0%
	67%	33%	0%	0%
2 週間に 1 回、問題データベースやキュビナを使った単元テストを実施した（5 教科）	60%	40%	0%	0%
	60%	40%	0%	0%
毎日の短学活に「対話」させる場を位置付けた（学年部）	100%	0%	0%	0%
	100%	0%	0%	0%
家庭学習について、改善に向けた個別指導を行った。	60%	40%	0%	0%
	67%	0%	33%	0%
チームの取り組みとして、通信を使って保護者に啓発や協力依頼を行った	17%	17%	50%	17%
	29%	29%	29%	14%
SNS に関する指導を行った。	67%	33%	0%	0%
	57%	43%	0%	0%
学校は家庭や地域への連絡や情報提供を適切に行っている ※学校だより、学級通信、配信メール、学校ホームページなど	100%	0%	0%	0%
	38%	50%	13%	0%

育友会活動や、保護者・地域との連携した活動に積極的に取り組んでいる	43%	43%	14%	0%
	50%	50%	0%	0%
教職員は協力して教育活動に取り組んでいる	57%	43%	0%	0%
	88%	13%	0%	0%
目標退勤時間（生徒下校後 6 0 分）に対応した、1日のタイムスケジュールを立てている	43%	43%	14%	0%
	25%	63%	13%	0%
効果的、効率的な働き方に努めた	100%	0%	0%	0%
「時間外勤務時間が縮減した」と実感が持てる	43%	43%	14%	0%
効果的、効率的な働き方に努めた結果、「時間外勤務時間が短縮した」と感じる	25%	38%	38%	0%